

「核兵器禁止条約」は2017年7月7日国連会議で採択され、同年9月20日に調印(署名)・批准・参加の受付が始まりました。そして2020年10月24日にホンジュラスが批准書を国連事務総長に寄託して批准国が50か国となったことを受けて2021年1月22日に発効されました。第2次世界大戦の末期に初めて使用された核兵器は、その75年後に遂に禁止されることになりました。

これまで大阪きづがわ医療福祉生協では、毎年広島・長崎で開かれている「原水爆禁止世界大会」へ組合員や職員の参加、核兵器禁止条約実現に向けての署名集めなどの活動を行ってきました。医療福祉生協の理念の一つに「平和をつくる」があります。これからも大阪きづがわ医療福祉生協は様々な活動を通して「平和をつくる」ことを実践していきたいと思っています。

かつて広島で被爆した大阪きづがわ医療福祉生協の組合員さん(当時20歳前後)のインタビューを掲載します。

平和への道、 一歩ずつ

1月22日
『核兵器禁止条約』発効



被爆した組合員さんのお話

当時、専売局で働いていた。第一工場と第二工場の間、5メートルくらいの渡り廊下があり、そこを歩いている時に、「ピカ」と光が来た。その2、3秒後に「ドーン」という音がして辺りが真っ暗になった。私も飛ばされたのか頭にけがをしてしまった。ほこりと汗と血で体はべとべとだった。

周りのみんなも慌てていた。とりあえずみんな集合して御幸橋の方へ行った。逃げてくる人がたくさん、みんな火傷していた。とりあえずみ

んなで逃げた。雨に降られながら。(お昼の)2時ごろにおにぎりを食べた。日が暮れて、(アメリカの)飛行機が来たから山の方へ逃げた。畝(うね)を枕にして寝た。次の日に実家への道を20キロメートル歩いた。道々にも死体があった。実家にはお盆ぐらいまでいた。

その後はまた爆心地に戻って色々な作業をした。父親も同じく被爆して髪が抜け原因不明で亡くなった。怖かった。もう二度とあんな想いはしたくない。

(当時20歳前後)

ma² CHOCO

ママ・ちょこ 59



少人数学級

昨年12月に小学校の学級の人数が、現在1クラス40人から2025年までに(現在1年生だけ大阪は2年生まで、だったのが)全学年35人以下に引き下げられる事が決まりました。

これまで長年の教職員組合、校長会、PTA、新婦人などのねばり強い運動と今回の新型コロナウイルス感染拡大を機に今までになく少人数学級を求める声が強くなり決まりました。四十年ぶりに、先生の定数が改善され、先生を増やす意味は大きいです。

しかし、5年かけて実施する21年度は加配分(習熟度や専科の先生分)の予算を回して措置するなど、

まだまだ不十分な内容で、小学校35人だけでなく、中学校や高等学校へさらに少人数へと広げていきたいものです。

学校現場の先生方の希望・要求は多くても20人学級実現がほとんどです。教職員組合で署名に取り組もうとしています。

今の個性の強い子ども一人ひとりにゆきとどいた指導をするためには35人でもむづかしいのです。コロナ禍のもと、学校は、子どもも先生もくたくたです。少人数学級など教育環境の改善が急がれます。

青木 勝美(小学校講師)

理事会報告

第6回 理事会

日時 2020年12月19日[土]午後1時半~3時50分
場所 大正コミュニティセンター ホール
出席 理事 26名/28名中、監事 2名/3名中

黙とう 川内理事が11月、お亡くなりになりました。
大正区「鶴町子ども食堂」の運営に貢献されました。

報告討議事項

- ①大阪府のコロナ感染状況と大阪きづがわ医療福祉生協の対応について
◆新年互礼会(1・9 PM6-)はオンライン開催とする
- ②港エリア建設事業計画及びエリア戦略について
- ③強化月間の到達と交流
- ④医療福祉生協連・民医連の取り組みから
- ⑤職員の確保と育成に関して
- ⑥大阪市:住民投票後の情勢

第6回定例理事会 協議承認事項

1号議案:11月度の事業活動報告

各報告承認事項について

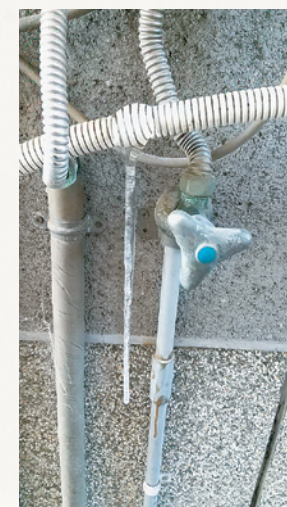
- ①事業に関する報告
 - ②2項組合員の加入承認の件
 - ③委員会活動 各エリアの活動報告
- 次回 拡大常務理事会
1月13日[水] 午後3時半~5時半 浪速はればれ理事会
1月16日[土] 午後2時半~4時45分 大正コミュニティセンター ホール

編集部
だより

この編集部だよりの原稿を書いているのは年明け1週目、ほぼ仕事始めで作成しています。今年はコロナの影響で帰省をおこなえませんでした。1人で年明けのカウントダウンをおこない、正月休みもほぼ人と会話することがありませんでした。

あまりにも声を発していなかったの、仕事始めの時にちゃんと声がでるか不安でしたが、「今年もよろしく」、ちゃんと言えました。

組合員活動部 小田 芳人



102
今月の
いちまい

今年の寒波はすごい。
組合員さん宅でツララ発見

医療費の支払いでお困りの方一度ご相談ください 必要な診察・治療を受けていただく事が何よりも大切です

無料低額診療事業 実施診療所

・みなと生協診療所・たいしょう生協診療所(医科・歯科) TEL.06-6571-5594
・ながほり通り診療所・西成民診療所 TEL.06-6554-1197(医)/TEL.06-6554-8841(歯)
・なごり通り診療所・西成民診療所 TEL.06-6533-0106 TEL.06-6659-1010

くらし、健康と地域の医療・介護を守るために YouTube企画に参加して

12月18日(金)、西成民主診療所
平井正美事務長が「緊急オンライン企画 コロナ感染どう食い止めるのか」(YouTubeわたなべ結ちゃんネル)に参加しました。大阪市の医療崩壊を食い止めるための現状と要望について発言しました。その一部を紹介します。

西成民主診療所の感染対策

西成民主診療所でのコロナ感染対応の現状と、日々感じている問題を報告します。コロナ禍により、患者さんが感染を恐れて受診回数を減らした結果、診療所への受診患者数は大幅に減少しました。4月以降9月までの上半期で成人患者さんは件数で昨年比13%の減少、小児の患者さんは70%の減少となっています。この傾向は現在も続いており、診療所の運営に大きく影響をあたえています。



オンライン企画の様子、左から2番目が平井事務長

発熱患者さんへの対応は第1波の頃から行って来ました。まず、発熱患者さんと一般患者さんとの導線分離が課題でした。受付事務を1名、毎日、玄関先に配置し、受診される患者さんの体温、症状の有無などを確認し、少しでも症状がある患者さんは待合兼診療スペースとして設置したプレハブで診察をおこなっています。発熱の方や体調が悪い方が、プレハブでの診察ですから、本当に申し訳ないと思っています。

大阪市の医療機関の現状

第1波の際に「発熱難民」という言葉が生まれましたが、行き場がなく不安を抱える患者さんを、当診が一定、引き受けました。「あちこちで診療を断られました。診てくれて本当にありがとうございます」という言葉をかけていただいた時には、大変ながらもやってきたことが良かったと思えました。今もそれを続けていますが、当診ではコロナのPCR検査はできません。診察し医師が必要と判断すれば、保健所に当診から電話をし、ご本人と保健所のやり取りにつながります。ですが、保健所、もしくは、その先の検査医療機関で、「37.5℃以上になったらまた電話ください」、などの対応で検査につながらない事例が多くあります。医師の指示、裁量権がないがしろにされるような現状があります。また、医療機関と保健所のホットラインがつながりにくく、検査医療機関では検査結果が2日後や3日後になる

と言われることもまだあります。コロナ重症病床の逼迫も連日報道されています。私たちのようなコロナ感染の入り口に対応する地域の開業医、コロナ以外の病気を治療する大中小の病院、重症病床を持つ急性期病院まで、すべての医療機関が苦しんでいます。とくに大阪市の現状がひどいです。

声をあげよう

今こそ大阪市の財源をつかい、まず、身近な行政区ごとにPCR検査ができるセンターを設置すること、地域の開業医の先生方が診察して必要と判断すれば、すぐに検査につながる体制を作ること、このことを一番に訴えたいです。そして、自身の感染と自身が感染源にならないかと不安を抱えながら奮闘している医療・介護従事者に公費でPCR検査を受けていただき、常に自分が感染源にならないことを明確にして仕事ができる状況にすべきだとも思います。

1面インタビューの感想

田路 耕平(たじこうへい)

みなと生協診療所外来事務



1面のインタビューは僕がさせていただきました。泣きながらお話しされていたことを今でも覚えています。何十年経とうと、この方にとってはいまだに思い出すのも苦しいのだと強く感じました。お話をするのも辛かったと思います。条約が発効されたとしてもこの人の傷が癒えるわけではありません。当時、被爆された多くの方々の無念を忘れてはいけないと思いました。

國本 郁美(くにもといくみ)

みなと生協診療所デイケアセンター



親戚のお兄さんが戦死して、「近所の人は親孝行をしたって言ったのよ。こんな悲しい親孝行があるか」と祖母は今でも泣きながら憤りながら話します。2017年の夏、長崎へ行きました。原水爆禁止世界大会のあの熱気は今も覚えています。核兵器をなくし、人の心に一生の悲しみを残す争いはもうやめようという声を、より大きくしていきたい。今はまだ日本も世界も「平和」ではないです。そのことを覚えておかないといけないと思います。

SNSでかんたんつながりづくり!

番外編

オンライン署名に挑戦しよう(携帯編)

SNS活用の番外編として希望があった「オンライン署名」のやり方を紹介します。2月号の誌面と合わせ、原水爆禁止日本協議会の取り組む「唯一の戦争被爆国 日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准してください!」のオンライン署名で案内します。

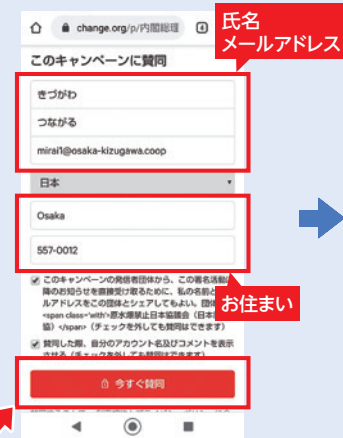
オンライン署名のやり方



- 1 QRコードを読み込む、もしくはインターネットで「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を検索



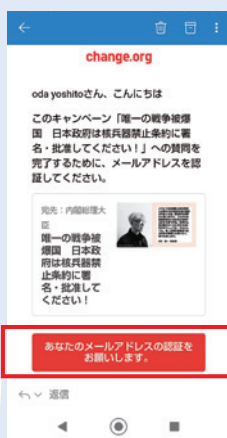
- 2 下部にある《今すぐ賛同》をクリック



- 3 氏名⇒メールアドレス⇒お住まい(全て入力しなくても可)⇒今すぐ賛同をクリック



- 4 3がずむとこの画面がでます。※金銭やシェアの支援は必須ではありません。同時に登録したメールアドレスに確認のメールが届きます。



- 5 届いたメールの「認証」をクリックで完了

港区でのグループホームしおかぜの移転拡充に伴う介護複合施設の建設事業

想いを語ろう・集めよう 夢ぷらん集会

2021.1.11 / 港エリア / 建設委員会

昨年末の大阪市グループホームの公募に応募し、港エリアの夢ぷらんは、建設に向けて設計基本計画の策定へ、次のステップへ歩みを進めています。

コロナ感染が広がりを見せる1月、感染拡大防止策を行い、午前・午後の開催で夢ぷらん集会を実施しました。グループワークで話し合うことができない為、報告会のようにりましたが、夢ぷらんで実現させたい地域づくり計画、グループホーム・小規模多機能型居宅介護の説明、終の棲家の議論まで多岐にわたって交流しました。

組合員さんには初お目見えの設計図(第1案)について、京都建築事務所から説明を頂き、要望なども出しました。「屋上緑地を作って欲しい」「組合員ルームが欲しい」「駐車スペースはどうなのか」「グループホームのお風呂の配置を考えて」などが具体的に質問されました。スペースや法令上の条件は厳しいものがありますが、多くの組合員の声を反映したいと考えています。

診療所では、サロンに『夢ぷらんの木』を掲示しています。そこに、“リンゴ”や“葉っぱ”の要望をたくさん実らせています。1月20日を目標に集約して、設計図に盛り込みます。午前中は、建設委員が施設の内容や設計図について説明をさせて頂いています。たくさんの方の人数では集まれません、個別にゆっくりお話しできますので、ご参加ください。



樋口実行委員長より、閉会のあいさつと、建設への熱い想いが語られました。



みなと生協診療所のサロンに設置された『夢ぷらんの木』。新施設への皆さんの希望や夢がどんどん実ってきています。



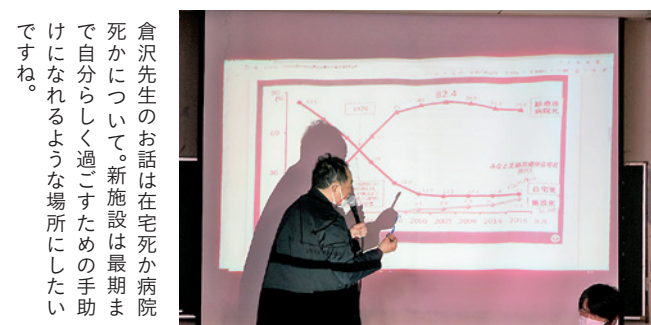
京都建築事務所より社長の細見様(写真右)、設計部長の中村様(写真左)にもご参加いただき、建物の具体的な配置などについて説明していただきました。



グループホームしおかぜ管理者の萩原さん。しおかぜに入居されていた方々のエピソードにはみんなが真剣に聞き入っていました。



大正の「にじの家」から管理者の柴山さんが来られ、小規模多機能型居宅介護についての説明と実際の利用風景の紹介があり新施設へのイメージが深まったように思います。



倉沢先生のお話は在宅死が病院死かについて。新施設は最期まで自分らしく過ごすための手助けになれるような場所にしたいですね。

お元気ですか?

またお会いできることを楽しみにしています!

コロナ禍の中で各エリアの組合員さんがどう過ごしているか、聞き取りをおこないました。

地域の健康権を守る運動に取り組んで

浪速区 ●



どい とみこ
土井 外美子さん

あべ たつお
阿部 達雄さん

浪速区在住の阿部達雄さんと土井外美子さんは、「浪速生活と健康を守る会」の事務局メンバーです。日々、地域の相談活動に加え、地域の健康を守る取り組みとして、積極的に組合員健診や、医療福祉生協加入を訴えています。

健診を受けて、何か悪いものがあっても「早期発見、早期治療」で症状も軽く治療費も低額で抑えられます。活動も身体が元気であればこそ、と話されます。

私の健康法

大正区 ●

毎日近所の組合員さんと昭和山へ小1時間ぐらい散歩(5~6千歩ぐらい)。お花を見たり、鳩と遊んだりして季節の変化を感じています。

晴れ晴れの週2回のモーニング班会には、足を伸ばして毎回参加していました(コロナで休止中)。卓球をしたりお助け隊も手伝っています。



あさの まさる
朝野 勝さん

自宅で 身体のメンテナンス

港区 ●

運動施設に去年から通いだし今も続けています。そこで教えてもらったことを自宅でもするようにしています。ストレッチポールを使って関節の動きを良くしたり、背骨を整えたりして身体のメンテナンスをしています。少なくとも週2回から、時間があるときはほぼ毎日しています。私で良ければお教えします。



さかもと さちえ
坂本 幸枝さん

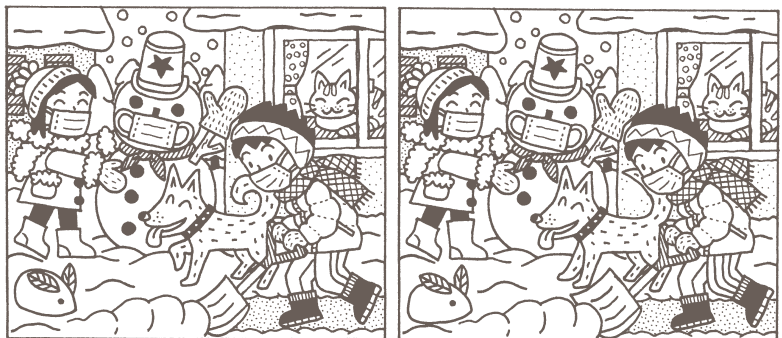
7		6					3
			1		5		8
	3				2		1
8	9			6	4		
			3			9	5
		5					7
	2		4		1		
1						8	2

あたまの体操
ナンバープレイス
 タテ・ヨコの同列内、太枠のブロック内に同じ数字が重ならないよう、1～9の数字をつめましょう。二重枠の数字の合計を答えてください。

●2020年12月号のナンバープレイスの答えは【9+3=12】でした

左の絵は右と7ヶ所の
まちがいがあります。

どこ？どこ
まちがいがし
まちがいは7



12月号の
こたえ 応募総数81名で
正解者80名でした。

12月号の当選者 20名
 図書カード当選者は発送をもって発表に替えさせていただきます。
 抽選は毎月第一月曜日に行っています。
 見学されたい方は、ご一報の上、お越しください。

【ハガキ 応募方法】

解答イラストを切り取り、ハガキに貼って
下記住所までお送りください。

*ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、今号の記事への感想やご意見、近況などをお書き添えください。また、ナンバープレイス・まちがいがしのどちらを解答していただいても構いません。

【メール 応募方法】

解答画像を添付の上、下記アドレスまでメールをお送りください。

正解者の中から抽選で20名の方に図書カード(500円)を進呈!

郵便番号は正確に

〒556-0024 塩草2-2-31
 大阪きづがわ生協「みらい」係
 mirai1@osaka-kizugawa.coop



どしどしご応募
お待ちしております

2月末日 必着

職員募集

●求人詳細は当生協ホームページにて
<http://www.osaka-kizugawa.coop>
 各事業所又は本部(06-4394-8500)まで



- 看護師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 歯科衛生士
- ケアマネジャー
- 介護福祉士
- 訪問介護員(ヘルパー)
- 事務員
- 介護スタッフ
- 送迎スタッフ
- 運動トレーナー
- リハビリ助手

※メールでおたよりを送っていただく場合、住所・氏名を入力してください。
 ※おたより掲載は図書カード当選と関係ありません。(編集部で選ばせていただきます)

を示す赤信号を点灯させ不要不急の外出自粛要請を強いられた。今後更なる拡大が予想される中、期待と願いを込めて節分を迎えたいと思います。

●コロナウィルス拡大のため外出自粛要請が出されたまま大変です。特に65才以上と言われると家にこもると認知症が一番心配です。脳トレにはげみます(笑)。「コロナウィルスは外、コロナワクチンは内」と大声で言まします。

大正区 T・Mさん

なさんにとつていい年になりますように。

西成区 匿名さん

12月号で募集したテーマ
 「〇〇は外、〇〇は内
 (節分にちなんで)」

●菌は外、2020は内、コロナのせいではとんど出かけず家にこもった2020年でした。今までが幸せだったんだあと改めて気づかされました。

大正区 福浦 初美さん

●「コロナは外、健康は内」と願いをこめて豆まきしたいです。大阪府は12月4日に非常事態

けでしょうか? (笑)

大正区 チャミグリーンさん

●「びっくり史跡めぐり」石清水八幡宮の記事を見て、ぜひお正月に行きたいと思いました。久しぶりに外出する気分になりました。

阿倍野区 増田 法子さん

●ナンバープレイスはいくら時間かけてもわかりませんでした。4人家族ですが2人が動いている会社が閉店で、リストラにあい、これらが全く見通せなく不安です。来年はどうかどうか明るい年になりますように。皆様よいお年を...。

港区 匿名さん

●みらいを見まして健康のことを考えています。

港区 西側 啓子さん

●今年もあと少しです。お店にも日々お正月物がならんでいるけどゆつくり見る間がありません。

大正区 バーバさん

●おたよりコーナーを読み、とても励みに。風邪を引き何も出来ず...「コロナに負けず頑張ってる」と言ってるのに私したら...情けないです。

港区 山本 美代子さん

●毎年会社のOB会で忘年会新年会そして親睦会も、年3回神戸で集合して飲み会をして楽しんでいましたが、新型コロナで当分出来ずもうありません。寂しくもあり残念です。

大正区 ウタスキさん

●毎日、ほとんど家の中にいる状況で、外に出るには必ずマスク。大好きな歌も歌えず、ストレスマックス、皆さん同じだと思います。ストレスの発散法教えて下さい。

港区 藤田 紀江さん

●コロナが落ちついたら色々なイベントに参加したいです。

大正区 岩本 嘉一郎さん

●デュアルタスク、実践して楽しんでいます。歌を歌いながらリズムに乗ると楽しいです。また良いニュース待つて居ます。蒲生さんに宜しくネ。皆さんのお便りコーナー楽しく拝読致しました。私は生まれが港区で育ち戦争体験も上村弥生さんの記事を読み、色々な想い出が。私は市岡で尻なし川に逃げて、どうにか家族共々助かりましたが、まわりは火の海。二年生の終わりでした。人生が狂って終わるのが嫌いです。平和を願うのみですが、また今はコロナ戦争、何時終息が来るのやら。GO TOトラベルも中止して欲しいです。不要不急の外禁と言いながら各地でイベントって? 変な話ですネ、明るい未来が早く来て!!

阿倍野区 保田 喜久江さん

●12月そろそろ年賀状を書く時期です。喪中ハガキが届く中、誰が亡くなったのか分からない。喪中ハガキの中には飼犬が亡くなったのも喪中という方も。おかしいと思うのは私だけではないか?

●今回のまちがいがしは難しく、最後の1つがわからなくて悩んでたら、5年生の次女が発見して嬉しそうでした!

港区 三姉妹の母さん

●先日、大腸癌検診をうけました。幸い、異常無しでしたが、検査前の下剤を飲むのが辛いです。あれが無ければいいのになあ。

大正区 吉村 奈々代さん

●一年経つのは早いですね。去年は病氣もせず、元気に過ごせた事に感謝して、今年はどうなるか、楽しみに「一日一日を大切に楽しく暮らしたいと思っています」。

港区 川野 千賀子さん

●今月の記事で自宅で作れるエクササイズですごく実行してます、簡単にムリなくできるし効果を期待しています。

西区 川本 泉さん

●2020年が終わろうとしています。日常がこんなに変わってしまった事を誰が想像したでしょう! 地域の食事サービスもお弁当の配布になり会食しながらの楽しいおしゃべりができないままです。家にこもりがちな毎日です。寒い日ですが買い物がてらに外に出て出会った人とマスク越しの立ち話でもいいと思います。少しは気分が晴れます。

浪速区 平田 淑子さん

●激動の2020年は、コロナでたいへんな年でしたが、初孫が産まれ忘れられない年になりました。コロナに負けるな!を合言葉にみんな、頑張っています。

大正区 村田 君子さん

●12月に入り雨が降らず乾燥の毎日が続いています。朝散歩40分して、買物、家のなかでの時間が多く、干し柿を作ってみました。二週間

もっとひろがる!つながる!
おたより
コーナー
 拡大版
 今月の募集テーマは ※4月号掲載予定
【桜にちなんだ思い出】
 写真も投稿してください!

おたよりへの感想・お返事など、交流の場としてご利用下さい